

メッセージ

## 茨城と世界の未来を拓く スカウト諸君へ!!

日本ボーイスカウト茨城県連盟名誉連盟長  
茨城県知事 橋本 昌

この度、關連盟長をはじめ、ご参会の皆様方からのご推薦をいただき、名誉連盟長を務めさせていただくことになりました。

茨城県連盟は、昭和26年に結成され長い歴史の中で輝かしい実績をあげられており、少しでもお役に立てるよう精一杯努めてまいる所存でございますのでよろしくお願ひいたします。

皆様ご承知のとおり、「自立心を持った健全な青少年の育成」という目標のもとに活動を続けている茨城県連盟は、これまで幾多の困難を乗り越え、野外活動や奉仕活動をはじめとするボーイスカウト運動を積極的に展開し、社会で活動するすばらしい人材を数多く輩出してまいりました。

一昨年の春、県連盟創立50周年をお迎えの際に、私は「茨城と世界の未来を拓く若人のますますの成長をお祈りします」というメッセージをお贈りいたしました。

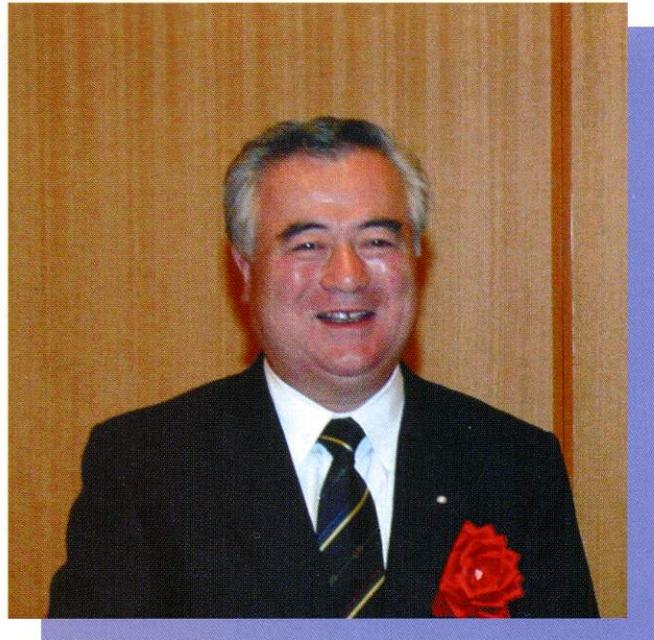
まさに「未来を拓く若人」こそ、今、そしてこれから茨城に求められる人材でございます。

今後は、「社会に役立つ人材づくり」にこれまで以上に取り組むとともに、より多くの青少年に、充実したスカウティングの提供をしていくことが茨城県連盟の使命と感じているところでございます。

さて、最近の子供たちは物質的に恵まれている反面、社会のモラル・規範意識の低下が指摘されており、いじめや不登校、青少年による凶悪な犯罪など、数々の問題が生じてきています。

その一方で、今日の青少年に関わる問題の背景には、戦後の高度経済成長に伴う社会の歪みや価値観の変化なども関わっていると言われ、今、大人自身のあり方も厳しく問われております。

このため、県といたしましては、地域に住むさまざまな職種・立場の人が声掛けなどにより、子供たちと何らかの形で関わり、子供たちの成長を見守っていく「地域親」の普及・啓発に取り組んでまいりますとともに、



完全学校週五日制に対応した家庭や地域の活動を支援するため、自然の中で様々な活動を体験する「茨城いきいき自然体験促進事業」を展開するなど、心豊かで健全な青少年の育成に努めてまいります。

最後になりましたが、皆様から多くの御推薦をいただきましたことに対して改めて感謝申し上げますとともに、關連盟長を中心といたします、日本ボーイスカウト茨城県連盟のますますの発展と、ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、就任の挨拶といたします。

### ●茨城県知事の名誉連盟長就任について

理事長 佐野 英樹

ここ数年来「県知事をスカウトの仲間に迎えよう」との声が大きくなり、県連規約条項を精査し、名誉役員として「名誉連盟長」を加えることについて平成14年度年次総会で審議し可決しました。

そして、關連盟長の内諾を得て、茨城県の関係部署との連絡調整を進め、先の定例理事会において「県知事を名誉連盟長にご推戴申し上げる」ことを満場一致で決定しました。

そこで、多数のご来賓および総会議員等の参席した平成15年度年次総会会場において、名誉連盟長就任セレモニーを実施し、県知事 橋本 昌氏をわれわれスカウトの仲間として、お迎えすることになりました。

# CLUB IB Howdy Scouts!! 2004.4

## 住宅地にB-Pが出現した?!

牛久第2団では、昨年2月22日のB-P祭で当団の倉庫の外壁にスカウトのお母さん・ビーバー・カブ・ボーイの各スカウトが絵を描きました。その写真を送ります。



## スーパーカブになれたこと

私は、くまの8月にスーパーカブになりました。スーパーカブになるまでに2つのたいへんなしれんがありました。1つ目がスケート場に行くことです。この辺には、スケート場がぜんぜんなかったので東大和まで行ってやりました。そのときは父がいっしょに教えてくれました。2つ目は、つりへいくことです。つりはなかなか行くかいがなかつたけれど、朝5時半に起きて実穀でつりました。そのときも父はこうしたらいいよなど言ってくれました。私はほとんどの活動に参加していたので、隊長・副長にいろいろ



聞けたので、スーパーカブをとれたのかなと思いました。あと、ほかの団員の人たちにも協力などしてもらって、その協力してくれた人のおかげだなと思いました。

これからも、ボーイ隊のターゲットバッジ、マスターバッジをたくさんとて、たのしく活動していきたいです。

【阿見第1団 小峰真紀子】

## 5地区ボーイ隊合同訓練



昨年6月14日-15日、第5地区ボーイ隊は、千葉県立小見川少年自然の家にて、カヌー訓練を行いました。スカウトは、6つのプログラムに挑戦し、全員がウォーターアドベンチャーのターゲットバッジを取得しました。

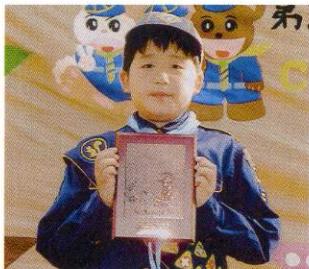
【5地区副コミ 菊池 永】

## スーパーカブになるまで

ぼくがスーパーカブになりたいと思ったのは、くまスカウトになってからです。それは隊長が「とっても名のある賞でつくば第1団ではまだだれもとっていないよ」と言ったからです。それからチャレンジブックを見てみると、学校でやったことがあることや、家で体けんしたことがあるものがあったりして、サインをしてもらってチャレンジ章をもらうのが楽しみになりました。隊集会のたびに最低1つはチャレンジ章をもらうぞと目標をたてました。

特に大変だったのは、魚たくをとることでした。お父さんと沼につりに行ったときはつれたのに、次にすみとか用意して行ったときはつれなくて、なん日もつれない日が続いて、本当に今年もらえるかあせってきました。ようやくつれた時は、本当に感動し、魚たくも図書館で調べたとおりにやつたらいがいにかんたんに出来て本当にうれしかったです。

図書館や市役所へいろんなことを調べに行ったり、家で工作をしたり勉強になりました。ボーイスカウトに上進し



てもがんばりたいです。  
【つくば第1団 一ノ瀬晶路】

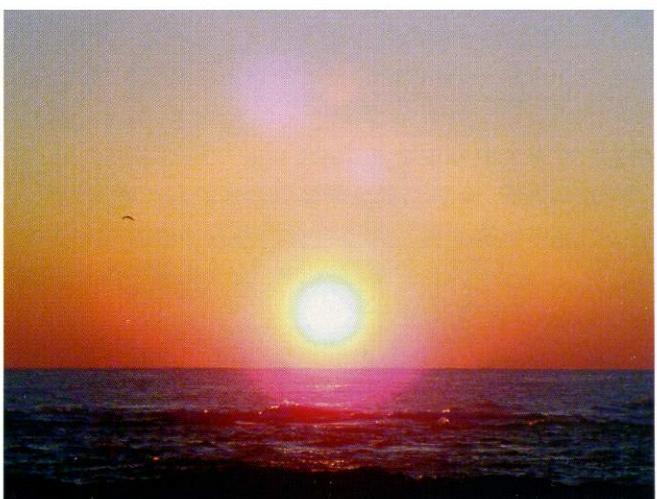
### ●保護者より

子供の気分に任せて数ページずつ進めて行きました。大人の私たちにも体験したことのない難題も幾つかあり、非常に悩みました。それだけ親子ともに真剣に取り組んできましたと振り返ります。

子供には、パソコンではなくなるべく自分で図書館へ行って調べるよう声かけをしてきました。その分、子供にとっても達成感があったのではないかと思います。一つのことをやり遂げた喜びを忘れないように前進して行ってほしいと思います。目標としたスーパーカブが達成できた今、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです、またホッとしております。【母 一ノ瀬優子】

## 2004年の初日の出

【水戸第8団 園部康夫】



※このコーナーは、みなさんからの投稿で構成されています。投稿お待ちしています。

## 平成 16 年元朝詣り

水戸第8団では、今年も恒例の「元朝詣り」を実施しました。元旦の早朝 2 時に水戸駅改札前に 11 名のスカウトと 5 名の指導者が集まり、しんしんと冷えこむ闇の中を大洗海岸を目指して出発。下市を過ぎて大洗街道に入り途中のコンビニで一度休憩して、大洗の常陽明治記念館のキャンプ場まで一気に歩きました。

キャンプ場ではベンチャー隊が熱々の餃子とお汁粉を作って待っていてくれます。ここで一息入れて海岸へ行き、刻々と色の変わる東の空

を見ながら日の出を待ちます。

毎年天候が良くて水平線上に雲があり海から昇る太陽を拝めないのですが、今年は快晴で雲一つなく、水平線からゆっくりと昇る初日の出を見る事ができました。今年は何かいいことがありそうな予感がしました。

思えば去年の初日の出はタイの 20WJ の会場で迎えました、真夏の元朝詣りというのも乙なものでした。

【水戸第8団 園部康夫】



## べんけい7 もどり

7月25日、今日、わたしは、つくば山に登りました。最初は「こんな山登ったってどうってことないよ」と思っていたけれど、登り始まるすぐ「ハアハア」と言って疲れてしまいました。

歩いている途中でびっくりしたことがあります。それは、べんけい7 もどりという所です。べんけい7 もどりという人は、べんけいという強い人がそこを通るのに7回ももどったからべんけい7 もどりといいます。そんなに強いべんけいがもどるなんてびっくりしました。

そのあといっぱい歩いてやっとちょうど上につきました。そ

のときは

「やったー！ついにつくば山を登りきったぞー！」と思いました。すごくうれしかったです。

つぎに、ふれあいの里に行って夜になつたら竹ぶえをつくりました。最後にはふえはできなかつたけど、こういう体験ははじめてだったので楽しかったです。

【つくば第2団 根本葉月】



## わたしは名救急士～救急法講習～

1月25日(日)、土浦第3団カブ隊では、永国台集会所で救急法の講習をしました。講師は副長の嶋田先生です。

お話を最初で、急病やけがなどで倒れている人を見つければ、真っ先にだれかに「連絡」をするということでしたね。鼻血がでたら、仰向けになつてはダメ、鼻をしっかりつまむこと。三角巾の使い方、毛布と竹ざおで担架をつくるなど、いろいろ教えていただきました。リーダーたちも「へえ～へえ～」とトリビアボタンを押したくなるよう



な場面もあり、講義の1時間はあつという間に過ぎてしまいました。

これから、ボーイ隊に上進して役に立つ救急法をしっかり身につけられるよう、そのきっかけとして少しでも理解できれば良いと思います。

【土浦第3団 大森育夫】

## 牛乳パックリサイクル手作りはがき

12月6日、13日と2週にわたり、リサイクル葉書作りを行いました。牛乳パックを溶かし、再生してまた紙に戻すという作業を行いました。

出来あがった葉書にはスカウト達の両親や友達への「感謝の気持ち」を文(文字)や、絵で表現し終了となりました。

【日立第6団 海老原隆司】

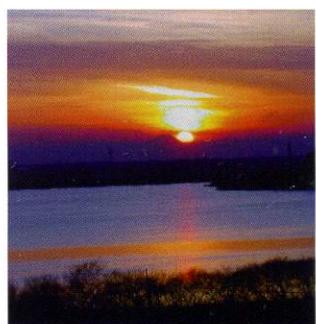


## 牛久城址のむこうに黒富士が見えた

1月15日に牛久沼で見る夕日は、富士山の真上に沈む、いわゆる「黒富士」です。15日を少し過ぎましたが、牛久第4団のビーバーのみんなで、それがよく見える場所までハイキングしました。当日は残念ながら天気が悪く(関東地方が雪だったんだものね)夕日は見えませんでしたが、晴れ男の隊長なもので、少なくとも雨、雪は打ち払いました。よく見える場所とは「牛久城址」ですが、そこに行く道はワイルドな山道

で、ガイドがいないと、たどりつけません。昨日は見えなかった夕日が、今日はまあまあの天気だったので同じ場所から撮影しました。

【牛久第4団 小原谷夫】



# YATTA!!

茨城59団完全訪問

File No.0 下妻第1団(カブ隊)

下妻市にボーイスカウトあった？  
じゃーん、お答えします。今年の4月に発団するんですよー。現在鋭意準備中なのです。

次回から始まるこのコーナー「茨城59団完全訪問 YATTA!!」は、茨城県内のすべての団の隊活動におじゃまして、一緒に活動しながら、その団を紹介していこうというものです。

準備号の今回は下妻第1団。4月に発団を控え、その準備訓練を3地区の宮田コミッショナーがレポートします。

皆さん、こんにちは。3地区コミッショナーの宮田です。下妻第1団の発団についてお知らせします。

発団のきっかけは、下妻ロータリークラブからの「体験キャンプ」への奉仕依頼でした。最初の平成13年はキャンプの企画・運営から資材の提供まですべてを3地区のボーイスカウトが担当し、翌平成14年は、資材の提供のみボーイスカウトで、企画・運営はロータリーとJCが行いました。この2回の行事をこなしながら、ロータリークラブにボーイスカウト設立を働きかけてき



ました。平成15年4月には、指導者講習会を下妻で開催し、ボーイスカウトを知つてもらう活動を始めたところその参加者の中から、研修所にいってみたいという方が5名出て、発団の動きが急に進みだしました。平成16年1月には第1回の育成会総会を開催し、4月までの登録に向けて、団の体制作りにとりかかっています。また、入団希望者(カブ隊からスタート)も34名集まり、2月22日には、第1回の事前訓練も行われました。この写真はその時の様子です。今回は3年生だけが参加しましたが、集合や解散、整列、やくそくとさだめなどについて、ゲームを取り入れながら楽しく学んでいました。4月に登録、5月9日に発団記念式典の予定です。

みなさん、新しい仲間を、よろしくお願いします。



●みんな楽しそうですね。写真からその雰囲気が伝わってきます。

## IBスカウト物語 1枚の写真から

### なんで世界ジャンボリーなの

昨年行われた「世界ジャンボリー」、みんなも知っている通り全世界のボーイスカウトの大会だ。この世界ジャンボリー、実は1920年の最初の大会では国際ジャンボリーと言っていたんだ。なぜ「国際ジャンボリー」から「世界ジャンボリー」に名称が変更されたんだろう・・・？？

辞書を見ると、「国際」は「国と国の間の関係・交際」のこと、「世界」は「地球上のすべての国の総称」と書いてある。ちょっと難しいけど、要するに「国際」だと、まずそこ

に「国」があることが大前提なんだ。「世界はひとつ、スカウトはみな兄弟」を掲げるボーイスカウトでは、自分の住んでいる「国」という意識はもちろん持っているけれど、人と人の関係においては、国という枠組みを当てはめてはいけない、ということで、「世界ジャンボリー」にすぐ名称を変更して、「国や人種にとらわれない仲間・兄弟の大会」と位置づけたんだね。1920年ころは、国際友情というスカウティングの理想はあまり受け入れられていなかったんだ。でも、ベーデン・パウエルはスカウティングには国際親善に尽くす十分な力があると信じていただんだね。





カブ・ビーバーラリー2003

# ラリー情報

FINAL



●いよいよ開会式が始まる

## カブ・ビーバーラリー2003

テーマ「夢と宇宙と冒険と」

- ・平成15年11月2日(日)
- ・水戸偕楽園公園・四季の原
- ・参加人数 2393名
- ・募資金額 32,845円
- ・パワー全開 120%



●橋本昌名譽連盟長も駆けつけた



●あ、宇宙飛行士が登場



●みんなで「やくそく」を唱和



●さあ、チャレンジに出発だ。



●展示ブースも盛りだくさん。



●スペース・スパイダー突破



●地獄のビッグバーン。緊張！！



●脱出用パラシュート完成



●UFOを捕まえるぞ



「ワクワク・ウキウキ・ドキドキ」のカブ&ビーバーラリー。地球を出発して、宇宙を巡り、B P星で開かれるスペースジャンボリーに参加したんだよね。どう？ 思いつきり楽しんだかな。素晴らしい天気の下、スカウトの歓声が響きわたりました。



●なかなかつれないエイリアン蛸



●飛べっ！！



●強烈、ムーンウォーク



●宇宙レスキュー隊、発進！



●流星渡りはむずかしい



●まずい、結び方を忘れた！！



●わあ。すごい。きれい。感激！！



●スペース・サイエンティスト



●えいやっつ！ 飛べ、流れ星！



●みんな、楽しかったかな

# INFORMATION

## WB研修所開設日程

平成16年度後期のWB研修所の開設予定は下記の通りです。参加希望の指導者は、早めのスケジュール調整と、課題研修の履修およびコミッショナーとの面接準備をしてください。

\*\*\*\*\*

WB研修所CS課程茨城33期

WB研修所BS課程茨城30期

以上 平成16年10月8日～11日

場所 土浦市青少年の家

\*\*\*\*\*

実施要項は、8月末に各団宛に送付予定です。団委員長の同意、地区コミッショナーの推薦を得て、課題研修と申込書と一緒に、所定の期日までに県連事務局に送付してください。

## 関連盟長の叙勲祝賀会、橋本名誉連盟長を囲む会 開催

關正夫連盟長が、秋の叙勲において旭日重光章を受賞されました。その祝賀会と、橋本名誉連盟長を囲む会が、12月7日、水戸レイクビューホテルにおいて、スカウト関係者150名が出席し挙行されました。参加者は、リーダーとしての関連盟長、橋本名誉連盟長の随所に表れる心遣いと暖かい人柄に目の当たりにし、このお二人が連盟の長として就任していただけたことを心から喜びまた感謝していました。



●県連参与の鞆さん(右)と田山さん(左)に、橋本名誉連盟長、關連盟長がそれぞれ花束を贈りました。

## 茨城県連盟50周年記念誌の一部修正について 編纂小委員会

県連50周年の際に発行した記念誌に一部不適切な表現との指摘がありましたので修正いたします。

129頁3行目 「牛久1団発団」→「稲敷第3団として発団し、昭和52年4月から牛久第1団に名称変更」に修正。

171頁枠内 「☆発団年月」 昭和43年4月1日(稲敷第3団として発団)に修正。

## 県連特製デイパック、講評発売中!!



県連では、オリジナルのカブ&ビーバー用(左)とスカウト&リーダー用(右)のデイパックを作成し、販売しています。

活動の持ち物を入れるのにちょうど良い大きさで、しかも、内部に防水加工がしてあります。生地・縫製共に一流ブランドの製品を手がけている工場で作られています。それぞれ頒布価格は

1,500円(消費税込)の低価格でのご提供です。限定、各200個、在庫限り。お求めは団や隊でまとめて県連事務局へ。お早めに。

## スカウティング茨城に君の隊や団の活動を紹介しよう!

広報専門委員会では、今まで発行してきたスカウティング茨城について再検討し、対象者、発行コンセプトを明確にし、記事の収集方法・体制を見直しました。

これからは読者参加型のコミュニケーション誌として、スカウト、リーダー、保護者に役立ついろいろなコーナーを設け、たくさんの情報を掲載してまいります。皆さんの投稿をお待ちしています。

### 【発行コンセプト】

#### ○メインターゲット

スカウトとその保護者、隊指導者

#### ○サブターゲット

団委員、スカウトの友人の児童・生徒

#### ○発行コンセプト

- ・スカウトやその家族にスカウティングの楽しさを伝える。
- ・ためになる(役立つ)スカウティングであることを伝える。
- ・スカウティングの正しい知識と方向性を伝える。
- ・自分の作品の発表の場を提供する。
- ・「好奇心」「進歩」「プログラム」の種を提供する。
- ・意欲の向上、継続へつながる「目標」を提示する。
- ・加盟員相互のコミュニケーションを図る。
- ・その他。

### 【投稿の際の注意】

●2ページの「Club IB Howdy Scouts!」は、スカウトやリーダー等からの投稿を紹介するものです。隊・班・組・自分の自慢や紹介、スカウトお宝の披露、作文や感想文、詩、絵、写真など何でも編集部宛にEメールか郵便で送ってください。

●投稿は、写真(絵)1枚と記事(400字程度)をセットして、必ず所属団隊・役務と氏名を明記して送ってください。

●個人情報については、「投稿をした」とによって上記の情報を本誌および「茨城県連ホームページ」に掲載することに同意したと見なさせていただきます。ご了解ください。(←※重要です。詳しくは下記SCIBホームページに掲載)

●〆切等は特にありません。送付先は…  
〒310-0034 茨城県水戸市緑町1-1-18  
茨城県青少年会館内

ボイスカウト茨城県連盟SCIB係または、Eメール

scouting-ib@world.email.ne.jp

(県連ホームページのSCIB)

<http://www.d2.dion.ne.jp/~bs18raki/SCIBconc.html>

からも投稿できます。

## 編集後記

ビーバー・カブラリーも終わり、新年を迎へやっとの思いで、発行にこぎ着け、勢い余って誌面まで新しくしてしまいました。新しい「スカウティング茨城」は気に入りましたか。そして、新たに編集部に投稿用アドレスを作りました。そう、もうわかりますね。優秀なスカウト諸君の力で楽しく役立つ「スカウティング茨城」を作りていきましょう。

編集長より